

令和3年産

仙台麦作情報

2021. 3. 23 第3号

宮城県仙台農業改良普及センター

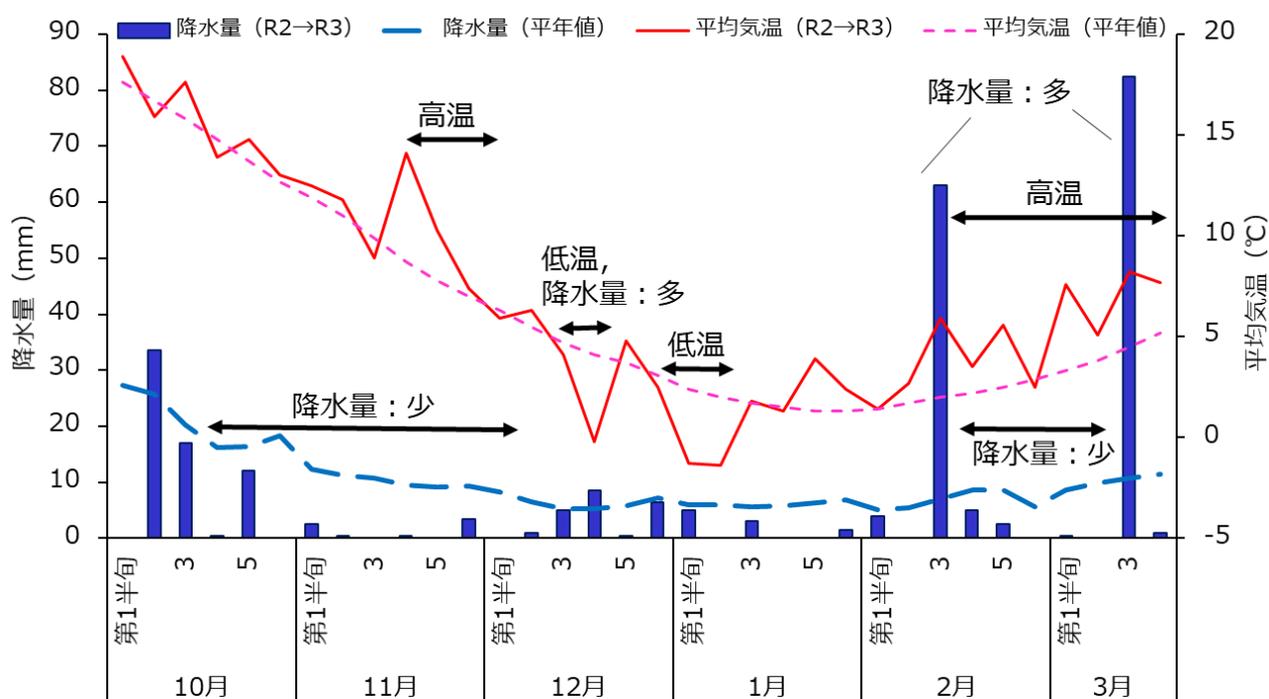
Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

今後の栽培管理におけるポイント

- 適期追肥の実施
- 排水状況の確認
- 茎葉処理剤による雑草防除

1 気象経過（10月第1半旬～3月第4半旬，仙台アメダス）



○麦生育・栽培管理への影響

- ・10月中旬以降の少雨 → 前作の作業が順調に進んだことに加え、天候に恵まれたため、適期に播種作業が行われた。出芽も良好。
- ・11月中、下旬の高温 → 生育良好
- ・12月中旬以降の断続的な降雪 → 麦踏みの遅延（主に北部平坦地域）
- ・2月第3半旬以降の高温 → 生育が進んだ。

2 大麦生育調査結果 (3月19日現在)

- ・2月10日時点では、大和・仙台ほ場ともに鳥類による食害を受けたが、2月第3半旬以降、平年より気温が高く推移したこともあり、回復した。
- ・茎数は、いずれも1000本/m²程度を確保しており、今後4月中旬頃を目安に、追肥が必要となる。
- ・幼穂長は、いずれも2mmを超えており、幼穂形成期を迎えた。
- ・仙台のホワイトファイバー、シュンライのほ場において、下葉の黄化が見られた。

表 生育調査ほにおける生育調査結果 (令和3年3月19日調査)

| ほ場 品種 (地帯区分) | 播種 時期 | 条間 | 草丈 (cm) | | 茎数 (本/m ²) | | 幼穂長 (mm) | | 幼穂形成期 | |
|-----------------------------------|----------|------|---------|----------|------------------------|----------|----------|---------|----------|----------|
| | | | 本年 | 前年 比% | 本年 | 前年 比% | 本年 | 前年 差 | 本年 月日 | 前年 月日 |
| 大和町落合桜和田 ホワイトファイバー (北部平坦) | 10/18 | 27.6 | 15.5 | 127 | 1233 | 324 | 2.79 | 0.69 | 3/1 | 3/20 |
| 仙台市宮城野区岡田 ホワイトファイバー (仙台湾沿岸) | 10/18 | 20.6 | 10.3 | - | 1263 | - | 2.36 | - | 3/8 | - |
| 仙台市宮城野区岡田 シュンライ (仙台湾沿岸) | 10/20 | 19.0 | 13.2 | - | 975 | - | 3.63 | - | 2/24 | - |

※仙台市宮城野区岡田のホワイトファイバー及びシュンライは1年目のため本年値のみ。



大和町ホワイトファイバー



仙台市ホワイトファイバー



仙台市シュンライ

3 今後の栽培管理

①適期追肥の実施 ～可能な限り、幼穂長を確認しましょう～

○幼穂形成期追肥（小麦）：穂数の増加

- ・麦類は幼穂長が2mmを超える頃から茎立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招く。
- ・生育量が少ない（茎数400本/m²以下）・湿害等で色が薄いなどの場合は、幼穂形成期を迎えたら速やかに追肥を行う。
- ・幼穂形成期追肥を行う場合、減数分裂期追肥も合わせて行う。
- ・「夏黄金」は、パン・中華めん用として、高いタンパク質含有率が求められる。そのため、追肥は幼穂形成期・減数分裂期・穂揃期の3回を基本とする。

○減数分裂期追肥（大麦）：1穂粒数の増加，登熟の向上

- ・有効茎数を500本/m²以上確保している場合、減数分裂期追肥を実施しないと、その後の麦体への窒素供給量が少なくなる可能性があり、そのため一粒当たりの光合成産物の分配量が少なく、細麦化する。
- ・大麦では、追肥時期が遅れると硬質麦の発生原因となるため、幼穂長や止葉葉耳間長を観察し、適期に追肥を実施する（次項以降を参照）。
- ・「ホワイトファイバー」は、もち性大麦であり、高いβ-グルカン含有率が求められる。β-グルカン含有率の低下を避けるため、減数分裂期追肥を必ず実施する。

表 追肥の目安

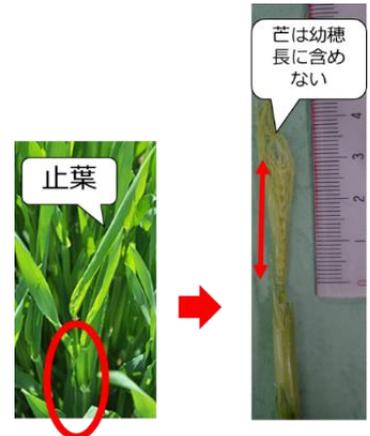
| 麦の生育ステージ | | 幼穂形成期 | 減数分裂期 | 穂揃期 |
|----------|-----|----------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 大麦 | 時期 | 3月上旬～3月下旬頃 (幼穂長：2～3mm) | 4月中～下旬頃 (幼穂長：2～3cm) | 硬質麦防止のため 実施しない |
| | 施用量 | 窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) | 窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) | |
| 小麦 | 時期 | 4月上旬頃 (幼穂長：2～3mm) | 4月下旬～5月上旬頃 (幼穂長：2～5cm) | 5月中旬頃 (ほ場の8～9割が出穂) |
| | 施用量 | 窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) | 窒素成分4～5kg (硫安20～24kg) | 窒素成分2～2.5kg ※夏黄金はこの2倍 |

※時期はおおよその目安であり、今後、平年より気温が高くなる予報であるため、実際には現地ほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断する。

※大豆後のほ場では、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ない。

○幼穂長の確認方法

- 1) 生育中庸な株の、長い茎3本を選ぶ。
- 2) 茎の膨らんでいる部分を手で剥く。カッターで切る
※内側の葉ほど根元付近は慎重に剥く
(勢いよく剥いてしまうと、幼穂がちぎれてしまう)。
- 3) 幼穂が茎の中心部に見られるので、定規等で計測する。



○止葉葉耳間長による減数分裂期の推定について

- ・大麦 (シュンライ, ホワイトファイバー, ミノリムギなど)
→ほ場の2割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したとき
- ・小麦 (夏黄金, シラネコムギなど)
→ほ場の4~5割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したとき

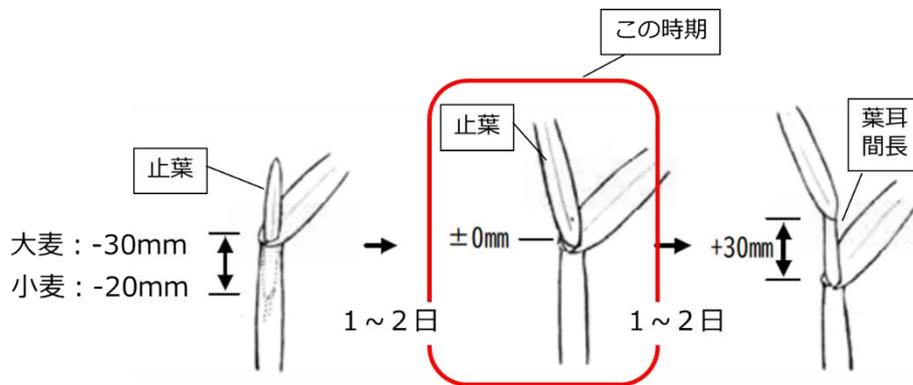


図 止葉葉耳間長の形態的推移

※普及に移す技術第81, 83号参照。

②排水状況の確認

融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要。「暗きよの再点検 (閉じていないか)」「明きよの手直し」を行う。



○排水環境の良い例
額縁明きよとほ場内明きよが排水路につながっている



○手直しが必要な例
ほ場内明きよが排水路とつながっていない

③茎葉処理剤による雑草防除

雑草の発生状況に応じて適宜、除草剤（茎葉処理剤）の散布を検討する。特に、幼穂形成期及び節間伸長期を過ぎると使用できる除草剤が少なくなるので注意する。

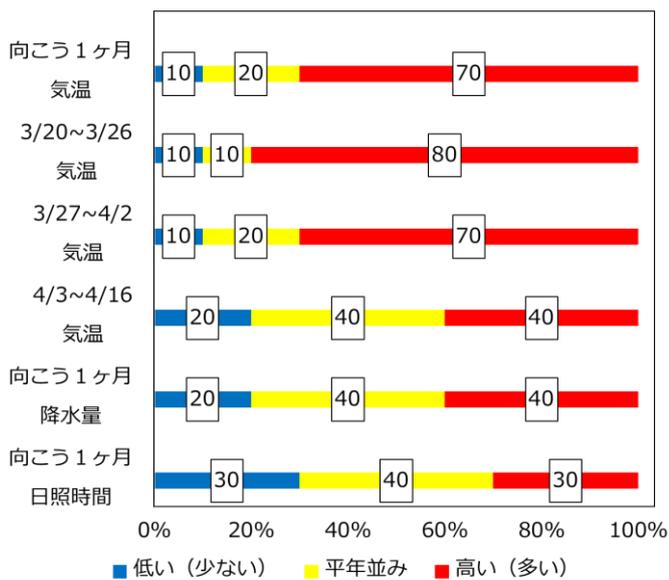
〈主な雑草〉

- ・イネ科雑草：スズメノテッポウ、スズメノカタビラなど
- ・広葉雑草：ハコベ、ホトケノザ、ヤエムグラ、ノボロギク、スズナなど

〈その他使用上の注意〉

- ・散布後、薬剤が乾かないうちに降雨等にあうと、薬剤が流れ落ちたりするなど効果が劣るので天候等に注意して作業する。
- ・対象雑草が限られているので、優先雑草を把握し、目的に合ったものを使用する。

〇1ヶ月予報（3/20～4/19，仙台管区气象台 3月18日発表）



- ・天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込み。
- ・期間の前半で平均気温は平年よりかなり高くなる予報。
- ・降水量は、平年並または多い確率ともに40%。